

【基本理念】 多様な主体と多世代がつながる支え合いのまち多摩区						
基本目標 1 多様な主体が参加する地域づくり						
【めざす方向】 多摩区は地域での様々な地域福祉活動が活発に行われており、多様な主体が日々、地域をより良くするために活動しています。担い手不足が問題になる中、今後も地域福祉活動を継続的に進めていくためには、全ての人(障害者、外国人市民、LGBT などを含む)を支援する側・支援を必要とする側と単純に分けるのではなく、支援される側も時にはできることで支援をする側となります。そのような人たちが地域に増やしていくことが重要です。さらに、若い世代の地域参加を促すために、SNSなどを活用した情報提供の充実により、多様な人材が地域福祉活動に参加することで、活動の活発化や多様化が生まれ、地域福祉推進の原動力となります。						
基本方針	具体的取組・事業名	取組状況(令和元年度)	取組状況に対する評価	事業の達成度	施策(基本方針)への貢献度	回答課
(1)誰もが参加できる健康・いきがいきづくり ⇒区民の健康を促進し、いきがいきづくりを支援するため、誰もが気軽に参加できる場の提供の充実を図ります。	1 子育てグループ支援	子育てグループに対して専門職等が健康講話や相談等グループの支援を実施しました。	保護者同志でのグループワークや個別相談を通して、育児の負担軽減や育児の孤立防止を図りました。	3 目標をほぼ達成	A 貢献している	地域支援課
	2 多摩区みんなの公園体操	公園や神社等区内34 会場でボランティアが公園体操を運営。	地域のボランティアの方々が運営し、地域住民の健康維持、生きがいきづくり、人々との交流促進と顔の見える活動を継続的に進めています。	3 目標をほぼ達成	A 貢献している	地域支援課
	3 多摩区いきいき体操	いこいの家や自治会館等、区内22会場でボランティアがいきいき体操を運営。	地域のボランティアの方々が運営し、地域住民の健康維持、生きがいきづくり、人々との交流促進と顔の見える活動を継続的に進めています。	3 目標をほぼ達成	A 貢献している	地域支援課
	4 多摩区地区ウォーク	ボランティアが3地区(登戸、稲田、三田)にて実施しています。	地域のボランティアの方々が運営し、地域住民の健康維持、生きがいきづくり、人々との交流促進と顔の見える活動を継続的に進めています。	3 目標をほぼ達成	A 貢献している	地域支援課
	5 いこい元気広場	【全市的取組】		3 目標をほぼ達成	A 貢献している	地域支援課
	6 介護予防普及啓発事業	多摩区内5地区で認知症予防教室を開催。2日間コースで認知症予防の講義やコグニサイズ、歯科や栄養の講義等の内容を取り入れて実施しました。	5地区で実施したことで、区役所には来所しにくい地域の方も参加でき、認知症予防について学ぶ機会を提供できました。	3 目標をほぼ達成	A 貢献している	地域支援課
	7 多摩区健康フェスタ	・多摩区健康フェスタの開催(9月15日、参加者610名) ・「多摩区健康フェスタ」実行委員会の開催(年3回+反省会1回) ・地域団体と協働し「多摩区健康フェスタ」を開催しました。参加団体の企画により、健康に関する情報発信や体験、活動の紹介を行いました。行政が事務局となり、会場や広報等、開催に向けた調整を行いました。	たまたま子育てまつりと同日開催することで、高齢者だけでなく多くの親子連れが参加し、多くの住民への健康づくりへの意識向上や多世代交流の機会を提供できました。今後も実行委員会で、参加団体間の交流や活発な意見交換を促し、企画に活かせるよう調整していきます。	3 目標をほぼ達成	A 貢献している	地域ケア推進課
	8 パサーージュ・たま	・多摩区役所1階アトリウムでの開催(6月を除く毎月開催、3月は中止としたため10回) ・「パサーージュ・たま」運営委員会の開催(1回) ・区内の障害者団体や施設等と協働し「パサーージュ・たま」を定期的に開催し、参加団体が活動紹介や作品の展示等を行っています。行政が事務局となり、会場や参加団体の調整等を行いました。	定期的に継続して開催できています。当事者も意欲と活力をもって参加しており、来庁者からも好評を得ています。障害に対する理解と関心を深めるため、令和2年度は広報誌を作成し、区町内会・自治会等に配布します。(2年ごとに作成)	3 目標をほぼ達成	A 貢献している	地域ケア推進課
	9 障害者社会参加の活動	障害のある人の社会参加促進を図るとともに、ノーマライゼーションの理念に基づき共に生きる地域社会の実現を目指し、ボランティアと協働して月1回、知的障害の人を対象にした体験活動や交流等を行う事業を通年で実施しました。	地域のボランティアのほか、参加者の保護者もボランティアとして参加し、行政と協働して事業を実施しました。申込者は多く、毎月の活動の出席率もよかったです。障害のある人もない人も共に生きる地域づくりに貢献できました。	3 目標をほぼ達成	A 貢献している	生涯学習支援課
	10 多摩区スポーツフェスタ	・多摩区スポーツフェスタの開催(令和2年3月8日)新型コロナウイルスのため中止 ・多摩区スポーツフェスタ実行委員会等の開催(4回及び運営部会1回)	誰もが参加できるスポーツ体験事業として、毎年行っており、今年度もパラリンピック種目のブラインドサッカーの体験等の実施を予定し、実行委員会を組織し検討していたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止となった。	4 目標を下回った	A 貢献している	地域振興課
(2)保健・福祉人材の育成 ⇒子どもや高齢者等に係わる保健・福祉サービスの充実を図るため、人材の育成に努めます。	11 子育て支援者養成事業	・人材育成と活用を目的とした子育て支援者養成講座の実施 ※講座15回(うち公開講座3回)、実習2回。受講生24名(公開講座のみの聴講生33名) ※8回(コロナウイルス感染拡大防止のため10回中2回中止)	養成講座については地域の様々な子育て支援活動で活躍できる支援者を養成する場を確保するとともに、講座修了者の新たな活動場所の確保のため調整を行い、活動場所の拡大に努め、情報提供を行いました。親子ひろばについては養成講座の活動実習および人材活用と位置付け、地域交流とネットワークづくりの機会を提供しました。	3 目標をほぼ達成	A 貢献している	地域ケア推進課
	12 すくすく子育てボランティア事業	産後相談や育児相談で活動しました。地域ケア推進課の子育て支援者養成講座の参加者にボランティアグループの周知を行いました。見学・実習生を4名受け入れ1名加入しました。	子育て支援者養成講座で若い世代のボランティアを募る他、こんにちは赤ちゃん訪問員に広報するなどベテラン層への周知も検討していきます。今後は母子への対応や声掛けについて学習会を実施していきます。	3 目標をほぼ達成	A 貢献している	地域支援課
	13 認知症サポーター養成講座	一般向け養成講座を年6回、小学校においては全14校で実施した。また、区役所主催の養成講座及び養成講座修了者向けフォローアップ講座を年1回ずつ開催し、その後の地域活動に繋がるような内容にした。中学校においては、小学校向け養成講座のフォローアップとして5校実施した。	区役所主催の養成講座及びフォローアップ講座で、サポーターが実際に行っている地域活動について紹介したところ、興味を持ったとの感想が多く聞かれました。また、小学校の講演会及び中学校でのフォローアップについて、よくわかったという感想や、具体的な関わりについて意見が聞かれたりと、認知症に対する理解が深まりました。	3 目標をほぼ達成	A 貢献している	地域支援課
	14 食生活改善推進員養成教室	健康づくりボランティア養成教室と合同開催しました。	10名が養成講座を修了し、9名が食生活改善普及員連絡協議会に入会するなど、新たな人材を育成できました。令和2年度も健康づくりボランティア養成教室と合同で実施する予定です。	3 目標をほぼ達成	A 貢献している	地域支援課
	15 介護予防・健康づくりボランティア養成教室	食生活改善推進員養成教室と合同開催しました。	教室内でボランティア活動をしている方を紹介し、地域活動に興味を持てる内容とし、地域活動へつなげました。	3 目標をほぼ達成	A 貢献している	地域支援課
	16 ボランティア学習会	効果的なウォーキングについて講義と実技を行いました。	健康づくりや介護予防等に関わるボランティアが活動を継続するために必要な知識や技術を身につけられる内容としました。	3 目標をほぼ達成	A 貢献している	地域支援課
	17 子育て支援者スキルアップ講座	・全2回、計49名参加。現場で活躍する民生委員や地域の方が実演する内容を加え支援者同士の交流を実施しました。	・地域において、支援者としての意識の高まりの醸成ができました。各子育て支援現場で研修内容を実施してもらうこともでき、継続実施の声が上がっています。	3 目標をほぼ達成	A 貢献している	保育所等・地域連携担当

<p>(3) 情報提供の充実 ⇒情報発信を積極的に行うことで、地域に関心を持ってもらい、地域福祉への意識を高めることをめざします。</p>	18 保育スキルアップ研修	・全5回、計330名参加。実践に活かせる実技研修を実施し、技術向上を図りました。(2020年3月の研修は中止)	・対象を絞るなどを目的確化し、より実践的な研修となった。「視野が広がり講演で得た知識を職場の人材育成につなげていきたい」など前向きな評価が多かった。	3 目標をほぼ達成	A 貢献している	保育所等・地域連携担当
	19 地域課題解決につなげる地域人材育成事業	若い世代が自分たちの住む地域に関心をもつきっかけを作る目的で、中高生を対象にした「想像力」「企画力」「コミュニケーション力」スキルUP講座を開催(全4回)し、成果発表として多摩区の魅力を発信するパネル展示をしました。	大学生サポーターと外国人市民の参加も促し、一緒に学習する形態をとったことにより、受講者である中高生も主体的に興味を持って学習することができました。受講申し込み者数は少なかったですが、ほぼ全員が全4回欠席せずに参加しました。	3 目標をほぼ達成	A 貢献している	生涯学習支援課
	20 子育てセミナー	子の発達を促せる親の関わり方に関する理解を促し、こどもに語りかける育児の大切さを学び育児力の向上を図りました。年6回開催し、平均11組の参加がありました。	参加者の応募が多く、参加者から、子どもたちのふれあいや語りかけの育児を学び好評でした。	3 目標をほぼ達成	A 貢献している	地域支援課
	21 認知症高齢者介護者教室	コロナウィルスにより中止。	平成30年度参加人数減少のため、形式を講演会へ変更し、市政だより等で広く広報を実施しましたが平成31年度コロナによる感染症拡大防止のためやむなく中止。内容としては、市内医師や区内の社会資源従事者を講師にし、3回コースで講演会を企画。より身近で具体的な情報を参加者が得られるよう構成しました。	4 目標を下回った	B やや貢献している	地域支援課
	22 シニア世代への地域活動促進の広報啓発	社協の発行する普及啓発媒体を確認し、重複している媒体については統廃合した。また、社協が発行する広報誌等を新たに庁内に配架するとともに、地域活動参加促進に資する意見交換の機会を設けるなど、日頃からの更なる連携強化に努めた。	高齢者の社会参加に係る相談の大半は社協が受け付けており、さらに、関係団体とのコーディネートの中核を担っていることから、シニア世代の地域活動参加促進のために引き続き社協との連携体制を確保していく。	3 目標をほぼ達成	A 貢献している	高齢・障害課
	23 こども・子育て講演会等事業	・1回、84名参加。リトミックで親子で一緒に身体を動かし、触れ合うことで、共通の楽しさを体験し、育児負担の軽減化、父親の育児参加支援を実施した。	・乳幼児向けリトミックを開催しました。HP等で広報したためか早期に予約が埋まった。父子での参加も多くあり、父母共に「親子で心地よい時間が過ごせた」との感想が多かったです。	3 目標をほぼ達成	A 貢献している	保育所等・地域連携担当
	24 多摩区こども・子育て情報収集・発信事業 子育て事業の情報発信 (CMS、SNS、子育てアプリ、市政だより、チラシ等)	・毎月1回、計12回発行(子育てワンポイント)。HPでは毎月、紙媒体は区役所に配架するなどPRにも努めました。 ・多摩区内の子ども・子育て支援における様々な情報を集めた「多摩区地域子育て情報ブック」を作成しました(6,000部)。母子健康手帳交付者や乳幼児家庭の区内転入者・希望者及び区内の子育て支援者、関係機関に配布し、区ホームページに掲載しました。	・「子育てワンポイント」は、公立保育園の地域支援事業や地域サロン等で配布するなかで、HPへのアップの催促をいただくことも、日々の子育てに活かしている、という声も聞かれます。 ・「多摩区地域子育て情報ブック」は、配布の要望を多くいただけており、母子健康手帳時の配布のほか、区内子育て支援施設等での配布やホームページへの掲載など、必要な方に広く情報を提供できるように工夫しています。毎年新たな情報等を加え、内容を更新しています。	3 目標をほぼ達成	A 貢献している	保育所等・地域連携担当 地域ケア推進課
	25 子育て応援冊子「いっしょにあ・そ・ぼ」の作成、配布 『子育てのワンポイント』の毎月発行	・4000冊を作成し、子育て中の親子に配布しました。幼稚園・保育園等の園庭開放情報や行事予定を掲載し、子育てに有益な情報提供に努めました。	・詳細な情報が1冊にまとまり、便利であると好評をいただけており、新年度の発行をお待ちいただいています。	3 目標をほぼ達成	A 貢献している	保育所等・地域連携担当
	26 安全・快適に暮らせる住まいづくり講習	両親学級受講者に住まいについて、未就学児を持つ親にクスの効かないバイ菌の話、中・高生に対して性感染症予防について、保育園や高齢者施設等の職員やヘルパー、区民(町内会等)には感染症予防や食中毒予防について等の講習会を実施しました。	両親学級では、これから赤ちゃんを迎える夫婦に対し、快適な住まいづくりについて定期的に講習会を開催できています。保育園や高齢者施設職員の衛生講習会は、感染症、食品の内容も盛り込み、施設での衛生面について、広く理解と関心を深めることができました。特に今年度初めて開催した未就学児を持つ保護者に対する講習は好評で予定数を超えて実施しました。これらの講習会を通して、多くの区民の方に生活衛生に関する知識の普及啓発をすることができ、安全安心な生活の支援に繋げることができました。	3 目標をほぼ達成	A 貢献している	衛生課
27 町内会・自治会への加入促進に向けた広報啓発・情報発信	・区町会連合会による啓発活動(年度当初の展示・啓発物配布、区青少年指導員連絡協議会合同/パトロール時の啓発物配布、HPによる情報発信等) ・稲田町会連合会による登戸駅自由通路へのバナーフラッグ掲示、タウンニュースでの町会紹介の掲載	多くの方に町内会・自治会の役割を知ってもらったり、加入を呼びかけるなど、広報啓発・情報発信を行いました。	3 目標をほぼ達成	A 貢献している	地域振興課	

基本目標 2 多世代交流でつながる地域づくり

【めざす方向】

子育て世代と高齢者世代は、社会的孤立による不安・不便という共通の課題を抱えています。子育て世代にとっては、子育て環境の変化や、いざという時の支援等の不足があり、高齢者世代にとっては、地域活動への参加機会の減少や、困ったときの担い手不足があります。それぞれの課題の解決には、世代の違う人とのつながりを強化し、多世代で助け合える地域にすることが、ひとつの解決策であり、地域・ご近所への関心も高め、地域力や組織力を高めます。地域で世代を超えて助け合える地域づくりの強化を進めます。

基本方針	具体的取組・事業名	取組状況(令和元年度)	取組状況に対する評価	事業の達成度	施策への貢献度	回答課	
(1) ボランティア・NPOの活動支援 ⇒新たにボランティアやNPO活動を始める人や、既に活動している人達に対し支援を行うことで、活動が充実するよう努めます。	28 多摩区こどもの外遊び事業	主催事業: 思いっきり外遊び 162名参加 協力事業: 魚つかみ 約150名参加、風揚げ 約300名参加 その他啓発事業、活動支援事業などを実施	・多摩区こどもの外遊び交流委員会の事務局となり、遊具貸出等の外遊び団体の支援を通じて、住民活動を活性化させることができました。各団体が提供する外遊びの場を通して、子どもの生きる力や創造力を育まれ、親子が地域の遊び場に顔を出すことで、若い世代の地域活動への参加を促進することができました。	3 目標をほぼ達成	A 貢献している	地域ケア推進課	
	29 介護予防グループ支援事業	区内介護予防グループに対して、保健師や歯科衛生士等の専門職による健康相談や健康講話等を行いました。	健康相談や健康講話を行ったことで、参加者やボランティアの自身の健康支援につながり、随時運営の相談にのりグループ活動支援を行いました。	3 目標をほぼ達成	A 貢献している	地域支援課	
	30 地域リハビリへの支援	地域で開催されている地域リハビリに対して、保健師や歯科衛生士等の専門職による健康相談や健康講話等を行い、随時運営の相談にのり地域リハビリの支援を行いました。	健康相談や健康講話を行ったことで、参加者やボランティアの自身の健康支援につながり、随時運営の相談にのり活動支援を行いました。	3 目標をほぼ達成	A 貢献している	地域支援課	
	31 老人クラブ育成事業	【全市的取組】					高齢・障害課
	32 自主防災組織への支援	・各自主防災組織連絡協議会の訓練等の活動に対して、「川崎市地域防災活動促進助成金」を助成 ・各自主防災組織が、地域での自主防災活動を目的とした防災資器材を購入する場合に、「川崎市自主防災組織防災資器材購入補助金」を助成	・令和元年度は63件の助成金申請がありました。 ・令和元年度は25団体が防災資器材購入補助金を利用されました。	3 目標をほぼ達成	A 貢献している	危機管理担当	
	33 磨けば光る多摩事業	審査委員会を開催し、提案された3事業の中から選定された2事業について実施した。 ・地域課題の解決や賑わいのある暮らしの実現に向けて、自主的、主体的に実施する公益性の高い活動を、地域の団体と協働で取り組んだ。 【参加者数】 ・多摩区障がい児の為に夢を叶えるチャレンジ教室事業 ：アートコース ダンスコース各25人、ファイナル発表会 69人 ：登戸まちなか遊緑地事業 6月 中止、11月 6,000人 ・事業の進捗状況を管理、把握するため中間報告書の提出を受けた。 ・事業終了後、事業決算書及び報告書の提出を受けた。	・多数の区民の参加を得て、地域課題の解決や賑わいのある暮らしの実現に向けた事業が実施された。 ・過去の実施団体の事業などで区に定着している事業も出ていることから、効果的な事業実施が行われている。	3 目標をほぼ達成	A 貢献している	企画課	
	34 市民活動支援事業	・登録団体間交流の開催(年1回) ・登録団体紹介冊子の発行(年1回)	・参加団体がいくつかのグループに分かれて、各々の活動紹介を行い、登録団体間交流を深めました。 ・登録団体の活動紹介を冊子として発行し、登録団体間の情報共有を深めました。	3 目標をほぼ達成	A 貢献している	地域振興課	
	35 地域活動に関する講演会等の開催	町内会・自治会の抱える課題の解決に向けた講演会等の開催。多摩区町会連合会役員会の中に地域コミュニティの活性化促進委員会を設置し、加入促進や活性化に資する講演会について意見をいただきながら企画。	加入促進やイベント等での参加者集め、町内会・自治会のいる活動を活かす事例を聞き、参加者による意見交換を通して活動の参考とする講演会等を企画したが、コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止とした。来年度についても、区町連と連携して企画を行う予定。	4 目標を下回った	A 貢献している	地域振興課	
	36 区民との協働によるまちづくり活動実践事業	・まちカソ! の開催(年1回) ・多摩★まちCafeの開催(年3回) ・多摩★まち大学の開催(年3回) ・広報紙の発行(年4回、各号2,500部(※最終号のみ3,000部)作成・配布) ・たまサロン、出張たまサロン(各1回) ・商店街を通じたエコ啓発活動の実施(通年)	・中間支援的機能の拡充として、区内で活動されている20数団体の交流会を実施したり、テーマを決めて、そのジャンルに特化して数団体招いて区民も含めて交流の場を積極的に設けたり、講師を招いて意見交換を行いまちづくり活動に役立つ学びの場を提供したりした。 ・まちの課題の抽出とその解決として、区民が考える地域の課題を課題を生で聞いたり、エコ啓発についてエコポイントカードを導入している区内4商店街の後方支援を行ったりした。	3 目標をほぼ達成	A 貢献している	地域振興課	
	37 市民自主学級・市民自主企画事業	市民団体が提案した長期学級(11回・保育付)、短期学級(5回)、地域の居場所づくりを目的としたカフェ運営講座とカフェ運営事業、思春期の子育てを考える事業、シニアのための詩歌を学ぶ事業、計2学級、3事業を団体と行政が協働して実施しました。	どの学級、事業も多くの申込者があり、企画運営する側の市民団体と受講者が同じ目線で課題を共有し、問題解決に向けて話し合うことができました。市民力の向上と地域のコミュニティ形成の活性化につながりました。	3 目標をほぼ達成	A 貢献している	生涯学習支援課	
(2) 地域活動・交流の場づくり ⇒世代を超えてあらゆる区民が、地域とつながりを持つことができるよう、区民が参加できる地域活動・場づくりに努めます。	38 多摩区地域包括ケアシステム推進事業	住民主体の取組の支援など地域の特性に応じた働きかけを行いました。 ・地域の情報収集・共有 ・町内会・自治会やキーパーソンへのヒアリング、関係機関との情報交換 ・地域活動の支援 ・必要な情報提供や立ち上げ支援等 ・地域づくりのためのフォーラムの開催(3地区で各1回 年3回) ・地域の居場所づくりの支援と住民への情報提供 「多摩区認知症カフェ・地域カフェまっぶ」を作成(6,000部) 作成協力: 多摩区認知症カフェ・地域カフェ交流会	地域活動を行っている住民や活動団体を中心にヒアリングを実施し、情報収集を継続しています。 ・フォーラムやカフェまっぶの作成等を通して、地域包括ケアシステムの啓発、住民主体の支え合いの好事例の共有、地域の中で活動がつながるきっかけを提供しました。 ・住民主体の活動への支援を平行して行うことで、地域カフェ等の住民主体の新たな活動が少しずつ広がっています。 今後現在の取組を継続しながら、住民の自助・互助の意識醸成のための情報発信や働きかけを行っていきます。	3 目標をほぼ達成	A 貢献している	地域ケア推進課	
	39 地域子育てサロン: ママ'sサロン	地域で子育て中の親子が集まれる身近な場所として(菅地区、長尾地区、長沢地区)を開催しました。	集団遊びや交流を通して子育ての楽しさ伝え育児の孤立化を防止し育児不安や育児負担の軽減を図りました。	3 目標をほぼ達成	A 貢献している	地域支援課	
	40 リハビリ交流会	【平成29年度で事業終了】	【平成29年度で事業終了】				地域支援課

41	マタニティ食育体験教室・親子料理教室	マタニティブラッシングと同日開催で両観学級3日目の後に実施しました。回数 を隔月から毎月実施に変更しました。講話の他に天然だしと顆粒だしの試食や 試食を行い、家庭での実践を促しました。	78名が参加。アンケートでは全ての方が「家でも今日の試食を作りたい。」と回 答し「薄味が参考になった。」等の感想が多く挙げられ、家庭でも自らや家族の 健康を考えて実行できる支援が行えました。	3 目標をほぼ達成	A 貢献している	地域支援課
42	患者・家族会等のグループ支援	患者を対象としたケアプログラムを毎月開催(年12回)。 家族を対象とした家族教室(年3回)と家族会(年2回)を開催。	患者を対象としたケアでは、様々なプログラムを実施し、患者のリハビリに なっているほか、家族教室では疾患にまつわる学習を行ったほか、家族会では 情報や意見交換を行うことで、当事者同士の交流と支えの場となりました。	3 目標をほぼ達成	A 貢献している	高齢・障害課
43	親と子の集いの場づくり事業	ママとあそぼういはいね事業、年24回、1575名の参加がありました。 民生委員児童委員の協力のもと3か所で開催しました。 ※2020年3月は中止	・民生委員児童委員やこ文職員、地域協力者などと地域親子の支援をしま ながら情報交換を行い、連携をさらに進めました。新たに認可保育園2園が 加わり、地域の方々が見守り合っている雰囲気や安心感にもつながって 参加できているように感じます。	3 目標をほぼ達成	A 貢献している	保育所等・地域連 携担当
44	だんだんの会	・生田エリア、宿河原エリア、土測エリアの3地区で各月1回、計233名の 参加がありました。子育ての悩み相談等子育て支援を実施しました。 ※2020年3月は中止	・少人数の中で、子育ての悩みを共有し、月齢や年齢の異なる先輩ママ からアドバイスをもらうなど、悩みの解消や子育ての孤立化防止ができました。	3 目標をほぼ達成	A 貢献している	保育所等・地域連 携担当
45	おいでよ! たまっ子〜あおぞら保育〜	・年28回計画、延べ1885名の参加。保育施設職員や在園児、地域親子 との遊びを通じた連携の実施。 ※2020年3月は中止	・研修への参加が体制的に厳しい園の職員も散歩中に参加でき、民間園 同士の交流の場になるなど、保育の質の向上のきっかけとなっている。	3 目標をほぼ達成	A 貢献している	保育所等・地域連 携担当
46	動物愛護事業	・いのちの授業〜いのちの音をみんなで聴こう〜の開催(区内小学校5校にて 実施) ・「動物愛護フェアinたま区」、「動物愛護パネル展」の開催 ・ペットの適正飼養セミナー「はじめませんか?地域猫活動」の開催	事業として5年目を迎えるが、全ての取り組みにおいて、参加者から好評を得て います。2年前から川崎市で取り組みが始まった地域猫サポーター制度は、多 摩区では1組のみの登録でしたが、適正飼養セミナー後新たに6組の登録申請 がありました。	3 目標をほぼ達成	A 貢献している	衛生課
47	たまたま子育てまつり	・多摩区総合庁舎での開催(年1回、9月第3日曜日開催) ・市民と行政機関で構成された実行委員会を9回、参加団体説明会を2回開催 ・チラシ8,500枚、ポスター1,000枚を区内全域に配布、子育て情報紙「多摩区で 子育て」14,000枚当日配布	地域全体で子育てを支える環境づくりや子育て支援団体と当事者とのネット ワーク構築のため開催。地域で活動している多岐にわたる世代の市民の方々 が様々な催しを行い、地域全体での交流を深め、活気溢れる地域に根付いたイ ベントになりました。	3 目標をほぼ達成	A 貢献している	生涯学習支援課
48	多摩ふれあいまつり	・多摩区総合庁舎での開催(年1回、6月第3日曜日開催) ・たまわかくさ(区内当事者・ボランティア連絡会)と市民、行政機関で構成され た実行委員会を10回、参加団体担当者会議を5回開催 ・チラシ3,500枚、ポスター900枚を区内全域に配布、当日パンフ9,000枚	区内障害者施設、ボランティア団体、障害者本人・家族等が協力して、障害のあ る人への理解を深めるために開催。当事者、ボランティア、実行委員等が協力 して取り組み、多くの来場者があり、地域のネットワークづくりを促進するイ ベントになりました。	3 目標をほぼ達成	A 貢献している	生涯学習支援課
49	子育てひろば・外国人の子育てひろば	乳幼児期の子どもを持つ親子が自由に入出りできるフリースペース「子育てひろ ば(毎月第2、第4火午前)」と保護者が外国籍の子育て中の親子が交流するフ リースペース「外国人の子育てひろば(毎月第2金午前)」を実施しました。	子育て支援グループの協力のもと、通年で開催しているため、事業の情報が広 く区民に知られるようになり、子育て中の親子の居場所となりました。	3 目標をほぼ達成	A 貢献している	生涯学習支援課
50	既設公園リフレッシュ事業	三田第2公園の第2期整備工事(遊具等の施設更新工事)を実施しました。	工事にあたり地元と調整をとりながら事業を推進しました。既存の古い遊具等が 更新され、利用者からも好評を得ています。	3 目標をほぼ達成	A 貢献している	道路公園センター 整備課
51	地区カルテを活用した地域づくり	多摩区地区カルテの改訂(令和元年11月) 住民の声・地域の特徴等を新規項目として追加し、関係機関や地域住民の方 々と地域情報を共有しやすくするように体裁を整え、地域住民や関係機関等に情 報提供しました。	情報の「見える化」を目標に、地域ヒアリング等で収集した地域情報等を5地 区に分けてわかりやすく整理しました。 今後は、活用に向けて、区ホームページ掲載や地域団体への説明等を行って いきます。	3 目標をほぼ達成	A 貢献している	地域ケア推進課

基本目標 3 見守り・支え合いのネットワークづくり

【めざす方向】

個人や家庭の生活課題が複雑化する中、複数の機関や関係者が関与しなければ解決が難しいケースも増加しています。高齢者、子ども、障害者などのそれぞれの課題に区民、町内会・自治会、民生委員児童委員協議会、社会福祉協議会、NPO、保健福祉団体、保健福祉サービスを提供している関係機関等、様々な立場の人が協力し合い、連携を深めていくことが重要です。さらに、あらゆる面からきめ細かくサービスを提供できるように、区民・団体・関係機関・行政の連携を強化し、サービスの向上を図ります。

基本方針	具体的取組・事業名	取組状況(令和元年度)	取組状況に対する評価	事業の達成度	施策への貢献度	回答課	
(1) 区民・団体・行政との連携 ⇒区民・団体・行政が一体となって協力・連携し、支援体制の充実を図ります。	52 子ども・子育て支援地域連携事業	・子ども総合支援連携会議の開催(1回)※新型コロナウイルス感染拡大防止のため2回目の会議を中止 ・地区会議の開催(計3回)	子育てに関わる機関・団体が、平成30年度に改訂した「多摩区子ども・子育て支援基本方針」を元に議論を深めることで、地域の子育て支援に関する状況や課題の共有、また、参加者同士の顔の見えつながりづくりを進めることができ、各団体・機関が互いに連携し子育て支援を行うことができる環境整備を進める一助となりました。	3 目標をほぼ達成	A 貢献している	地域ケア推進課	
	53 チーム・たまの活動	多職種連携ネットワーク組織と連携した公開講座の開催(2回)	公開講座等の開催を通じて、多職種間のつながりを強化することができました。	3 目標をほぼ達成	A 貢献している	高齢・障害課	
	54 多摩区支え合いのまちづくり推進会議	・多摩区支え合いのまちづくり推進会議の開催(2回)	多摩区地域福祉計画とその上位概念である多摩区の地域包括ケアシステムを推進するため、地域福祉に関する取組や地域のニーズ・課題等について各委員から意見伺うことができました。	3 目標をほぼ達成	A 貢献している	地域ケア推進課	
	55 多摩区食育推進分科会	「乳幼児期及び子育て世代の保護者」をテーマに会議を2回開催しました。7月3日(水)に食育関係者向けに食育交流会、9月15日(日)に子育て世代対象に食育講座を開催しました。	参加団体に食育計画の今年度の重点目標である「わを大切に作る食育」の積極的実施について提案した結果、地域住民向けや団体同士が連携する取組が増加しました。また、食育交流会、食育講座共に多くの方が参加しました。アンケートでの評価も高く、地域づくりにつながりました。	3 目標をほぼ達成	A 貢献している	地域支援課	
	56 地域ケア会議 (個別ケア会議・地域ケア圏会議・地域ケア推進会議)	・個別ケア会議の開催(年7回) ・地域ケア圏会議の開催(年10回) *地域ケア推進会議は再編・統合により廃止(全市的に廃止)	地域ケア関係会議の開催を通じて、地域の関係者と共に地域課題を抽出・検討(意見交換)することで、地域包括ケア体制の推進に寄与することができました。	3 目標をほぼ達成	A 貢献している	高齢・障害課	
	57 多摩区地域包括支援センター連絡会	【全市的取組】					高齢・障害課
	58 多摩区健康づくり推進会議	「働き盛り世代(30~40代)の女性の健康づくり」をテーマに、会議を年2回、イベント部会を1回開催しました。健康に関する意識向上を図るためのチラシを3500部作成し、イベントを2回実施しました。	委員の協力を得てチラシなどで広報し普及啓発を行うとともに、イベントの実施により健康に関する意識向上を図ることができました。	3 目標をほぼ達成	A 貢献している	地域支援課	
	59 多摩区食生活改善推進員連絡協議会への支援	月4回の定例会と月1回の運営委員会に出席し、講話や情報提供を行いました。	活動に合わせた講話や情報提供をしたことにより、自主的な健康づくりの普及啓発の支援ができました。	3 目標をほぼ達成	A 貢献している	地域支援課	
	60 多摩区要保護児童対策地域協議会実務者会議	第1回:8月7日に実施。:児童相談所報告、児童家庭相談報告・区役所の取組報告、平成30年度実務者会議報告、機関紹介、情報交換等 第2回:11月22日に実施。テーマ『妊娠前から子育て期までの切れ目ない支援』を設定し、社会福祉法人幸福園理事長 高橋 ゆきえ氏を講師に講演と参加者による交流会を行いました。大学教授によるSVを年3回実施しました。	第1回の機関紹介や区内における児童虐待状況の情報共有や情報交換はその後の連携した児童虐待対応で有効でした。第2回については講演後に小グループにて感想交流の時間を設け顔の見え関係を構築することができました。大学教授によるSVは関係機関の方にも参加していただき、ケース支援を深めることができました。	3 目標をほぼ達成	A 貢献している	地域支援課	
	61 公立保育所の地域支援推進事業	【全市的取組】					保育所等・地域連携担当
	62 多摩区幼・保・小連携事業	【全市的取組】					保育所等・地域連携担当
	63 民営保育所・保育施設等への訪問・連携	【全市的取組】					保育所等・地域連携担当
	64 年長児担当者会議・保育の交流	【全市的取組】					保育所等・地域連携担当
	65 多摩区地域自立支援協議会	【全市的取組】					高齢・障害課
	66 多摩区精神保健福祉連絡会議	・全体会議(年4回)・作業部会(年3回)の開催 ・精神保健福祉に関する講演会(年1回)の開催 ・講演会チラシ2万部超を作成し区来庁者、大学や医療・福祉の関係機関へ配布	平成31年度は「青年期・成人期におけるメンタルヘルス」と題し、生きづらさとそれに向き合うためのマインドフルネスについて、時折身体を動かす実践を交えつつ講師よりお話し頂き、参加者からは「わかりやすい」「よかった」と大変好評であった。	3 目標をほぼ達成	A 貢献している	高齢・障害課	
	67 区社会福祉協議会との連携	関係各課において必要に応じてお互いが所管する情報のやりとりを行いました。	地域活動を進めるための情報を交換するなど必要な連携をとることができました。	3 目標をほぼ達成	A 貢献している	区役所各関係部署	
	(2) 支援につながる仕組みづくり ⇒支援につながる仕組みづくりをすることで、地域のネットワークを強化し、支援を必要とする人々の要望に応じます。	68 川崎市地域見守りネットワーク事業	【全市的取組】 通報件数:5件(令和元年8月2件、9月1件、令和2年2月1件、3月1件)	住民と接する機会が多い民間事業者との連携を通じて、異変や支援を必要とする人を早期に発見することにつながり、事業者も含めた地域社会全体での見守りを実施することができました。			地域ケア推進課
		69 災害時要保護者避難支援制度	川崎市災害時要保護者避難支援制度に登録した方、登録抹消した方の情報を、該当する自主防災組織に送付しました。	個人情報に配慮し、適切に送付しました。	3 目標をほぼ達成	A 貢献している	危機管理担当

安産1〜10人まで。

70 民生委員児童委員の活動支援	<p>・民生委員児童委員の一斉改選に係る事務(町会自治会への候補者推薦依頼、推薦区会開催、退任者への感謝状伝達式の開催、新任者への研修会の実施)</p> <p>・欠員解消に向け、町会自治会への推薦依頼及び市民への広報活動</p> <p>・市民から民生委員児童委員に対する相談・依頼の窓口</p>	<p>・一斉改選及び随時改選で228名が委嘱されました。</p> <p>・欠員地区解消のため町会自治会へ候補者推薦依頼を行いました。</p> <p>・市政だより多摩区版に民生委員児童委員の活動紹介記事を掲載しました。</p> <p>・市民からの相談や依頼があった際は、民生委員児童委員と情報共有・連携を行いました。</p>	3 目標をほぼ達成	A 貢献している	地域ケア推進課
71 多摩区子育て支援パスポート事業	<p>・発行数1,481枚(2月末現在)、協賛店97店</p> <p>・多摩区子育て支援パスポート事業プロジェクト会議の実施(4回)</p> <p>・協賛店の確認、協賛店ガイドの更新(3,000部)</p> <p>・たまたま子育てまつりや中野島音楽祭等における普及活動、再発行受付</p> <p>・当該事業HPのリニューアルに向けた調整</p>	<p>子育て世帯やこれから出産を控えた世帯に、地元商店街で各種サービスが受けられる「多摩区子育て支援パスポート」を発行することで商店街に行くきっかけづくりをし、地元商店街等による子育て世帯への声かけや見守りにつながる仕組みづくりを促進できました。</p> <p>また、当該事業HPについて、より広い範囲の地域住民が情報にアクセスしやすい環境で必要な情報を得られるようリニューアルを進めています。</p>	3 目標をほぼ達成	A 貢献している	地域ケア推進課
72 ひとり暮らし等高齢者見守り事業	【全市的取組】				高齢・障害課
(3)相談・支援体制の充実	73 こんにちは赤ちゃん訪問事業	【全市的取組】			地域支援課
⇒様々な関係団体等と連携を強化することで、相談・支援体制の充実を図ります。	74 幼児の発達支援事業	1歳半健康診査のフォロー教室として月1回開催し、月平均15組参加しました。3歳児健康診査のフォロー教室として月1回開催し、月平均3〜4組の参加がありました。	3 目標をほぼ達成	A 貢献している	地域支援課
75 多摩区子ども相談窓口	チラシを8000部作成し、幼稚園・保育園、小中学校、児童家庭支援センター、子育てひろば、民生委員、その他福祉施設等に配布しました。また、小中学校については1年生全員にも配布しました。	児童家庭支援センターの相談内容を修正し、実態に合った相談先を周知することができました。また、6月に発行することで、実際に学校訪問等で説明しながら配布することができ、結果的にチラシで相談先を知って来所するケースもあり、効果がありました。	3 目標をほぼ達成	A 貢献している	地域支援課
76 市民歯科健康事業	【全市的取組】				地域支援課